

中丹の教育



まなび通信〔府立学校版〕

京都府中丹教育局

第60号

令和3年12月3日

<http://www.kyoto-be.ne.jp/tyuutan-k/ans/>

キーワード

「つながり」



令和3年度中高連携推進会議

令和3年11月11日(木)

於 京都府立福知山高等学校

けるように中高の教員の交流を通して、スムーズな中高の接続を推進することです。

今回の会議では、教科等を軸とした接続ということで、総合的な学習の時間及び探究の時間の学びの連続性や授業改善における協議を通して子どもたちの学びの接続を図ることを目的として実施しました。

令和3年度中高連携推進会議を実施しました。今回は京都府立福知山高等学校を会場とし、管内の中学校の総合的な学習の時間の主担当教員20名、中丹通学圏府立高等学校(附属中含む)の総合的な探究の時間の主担当教員8名に参加いただきました。

本会議の目的は、すべての子どもたちが生まれ育つ環境に左右されることなく、将来を切り拓いてい

【授業見学・授業説明】

福知山高校には高校の授業と附属中の授業を公開いただきました。参加者には、「自校で何ができるか」という視点を持って見学していただきました。



公開授業①
「みらい楽」
(附属中3年)



公開授業②
「みらい学」
(高校1年文理科学科)



授業説明
福知山高校 倉内教諭
附属中学校 奥村教諭

～参加者の振り返りより～

(中)探究活動を取り入れることで、情報活用能力や課題解決能力にも繋がることを、今日の生徒達を見て感じた。

(中)総学でも校種間連携することで、より生徒が安心して学べる場が作れるということが心に残った。

(高)中学校の様子を知ることが重要であり、今回の参観は大変参考になった。

【課題提起】 京都府中丹教育局 指導主事 西村 華織

- ① 総合的な学習・探究の時間
- ② 校種間の連携

生徒の学びに向かう力
生徒が安心できる学び
生徒の興味・関心を高める学び

課題と生徒の関係(イメージ)

総合的な学習の時間
議題を設定し、話し合うことで
自分の学び方を考えたい

総合的な学習の時間
自分の学び方を考えながら
よりよく課題を解決していく

よりよく課題を解決する

生徒には自律性が
要求される!!

自分の学び方を
考えたい

課題

小学校・中学校

高校

中・高の「つながり」

- ・カリキュラム・マネジメントの充実
- ・探究的な学習過程の充実

ICTの効果的な活用

- ①課題の設定
体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ②情報の収集
必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③整理・分析
収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④まとめ・表現
気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、表現する

総学の今後に期待すること

～参加者の振り返りより～

(中)教科横断的な視点からのアプローチについて具体的イメージが持てた。

(中)系統立てたカリキュラム作りが鍵である。

(高)総合的な探究・学習の時間は「学び方を学ぶ教科」である。総探を通じて、社会に出ても学び続ける生徒を育成したい。

【研究協議】

『今、求められる資質・能力を高めるための総合的な学習・探究の時間とは』をテーマに協議を行いました。



～参加者の振り返りより～

(中)小中高でつなぐようなカリキュラムが地域で出来れば、ものすごい力になる予感がする。

(中)考えてみたい、探究してみたいと思える課題を設定できるのが大きなポイントであると感じた。

(高)総学の位置づけや現状、課題など生の声が聞け、中高連携の重要性を感じた。

普段なかなか機会のない『総合的な学習・探究の時間』で中学校と高等学校のそれぞれの実践や課題を交流できたことには大きな意味がありました。

今後は、単元構想の立て方や、各校の実践なども発信していきたいと考えております。